

俺の推しメン
美琴みこには
悪い噂があった

だって、僕が
大好きだから
♪♪

ハハハハハハ
全部あげても
いいのさ♪

夜の店で体を
売っているという
ふざけた噂だ

あなたの娘に
なりたいのさ♪



みこは天使だ…
当然俺は信じなかった
……だが、
どうしても真相を
確かめたくなった俺は
夜の街を捜し歩き

ついに……
彼女が働いてる店を
見つけてしまったのだ……

は……
ほうあ……

みこ!!!

はなこ

ぱば
おがえり
なさあ〜い♡



そこに居たのは
紛れもない
彼女だった！

みこを指名して
くれてありがとう♡
ほら入って♡♡

ウキ♡

うふ♡



絶望と興奮が
入り混じって
気が狂いそうになった

嬉々として
客を迎え入れる
みこ……

あられもない姿……

みて
みて♡

俺の中の
天使の幻想は
徐々に
消え去り……

ね〜いじえ♡
かわいい
ごしまい♡



いっぱい
愛しあおうね
ぱばあ……♡

こっち
きこ……♡



ご……ゴム無し
でいいの……？

うん♡
いいよ……♡

その事実だけで
もう充分だった

代わりに……
とてつもない
情欲が
沸き上がって
くるのを感じた

みこ
やれるんだ……

